

執筆者紹介 (掲載順)

執筆者 職位 (所属学科) 専門分野 主な担当科目など

鈴木 弘孝 教授 (環境社会学部環境社会学科) 博士 (農学)・技術士 (建設部門)
専門分野: 緑地計画・緑地政策・都市緑化・環境デザイン
担当科目: 環境政策論・環境関連法・緑地まちづくり・屋上緑化・エクステリア・土壤肥料論 他
主な業績: 環境情報科学センター学術論文賞 (2008年)・日本造園学会学術論文奨励賞 (2008年)
主な著書: 『緑と地域計画Ⅱ』 (共著、古今書院、2011)・『緩衝緑地整備における事業効果分析と樹林構造の評価』 (単著、建築研究所、2008)・『壁面緑化による建築敷地・街区での温熱環境改善効果に関する研究』 (単著、建築研究所、2007)・『市民ランドスケープの展開』 (共著、環境コミュニケーションズ、2006)・『市民ランドスケープの創造』 (共著、公害対策技術同友会、1996)・『造園の事典』 (共著、朝倉書店、1995)・『造園施工管理技術編』 (共著、(社)日本公園緑地協会、1995)・『都市公園におけるオートキャンプ場計画指針』 (共著、(社)日本公園緑地協会、1994)
社会貢献: 大網白里市環境審議会会長 (2016-)・東金他三市町清掃組合 新ごみ処理施設用地検討委員会委員長 (2015-)・茂原市まちづくり条例策定協議会委員 (2013-2014)・国土交通省公園・緑化技術会議委員 (2003-2008) 他

瀧 章次 准教授 (大学院: 国際アドミニストレーション; 学部: 環境社会学部環境社会学科)
専門分野: 西洋古典学
担当科目: 倫理学、人間学、環境倫理
主な業績: 平成 25、26 年度 科学研究費助成事業 第 1 段審査 (書面審査) 委員 (ヨーロッパ文学)。「プラトンをめぐる接近法」- 「プラトン解釈の問題点」を軸として、土橋茂樹ほか編『内在と超越の関一加藤信朗米寿記念哲学論文集』 (知泉書館、2015 年、所収、pp. 25-37)。

国武 陽子 准教授 (環境社会学部環境社会学科) 博士 (農学)
専門分野: 生態学
主な担当科目: 環境生態学、里地里山保全論、環境教育論
主な業績: 論文: 「Role of a seasonally specialist bird *Zosterops japonica* on pollen transfer and reproductive success of *Camellia japonica* in a temperate area」『Plant species biology』19(3): Society for the Study of Plant Species Biology, 2004.
「Impact of an invasive bumblebee on native plant reproduction: competitive interactions between alien *Bombus terrestris* and native bumblebee pollinators reduce the seed production of *Corydalis ambigua*」『Ecology』 Ecological society of America, 2008.
社会貢献: NEXCO 東日本 景観・環境保全アドバイザー (2016-)、NEXCO 東日本エンジニアリングアドバイザー (2017-)